

## 健康文化都市を目指して

健康とは「身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態であって、単に病気が虚弱でないだけではない」と健康憲章にうたわれています。それは私たちが働き、学び、遊ぶ、人生のそれぞれの場面における活動の基本です。その実現のためには、単に個人が健康に気をつけるだけでなく、市

民一人ひとりがいきいきと生活できるハード、ソフト両面の環境整備、「健康」を基本としたまちづくりが必要です。南国市では、現在健康づくり推進会や食生活改善推進協議会などの、市民が主体となった団体が、各地区で健康づくりの活動を積極的に行っています。それらの活動に対する市民の参加は多く、全体として健康づくりへの関心は高いものがあります。

このような実績と市民の健康づくりへの関心の高さから、十月二十一日に京都市や宮崎県都城市、愛媛県今治市など他の十七市町とともに「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン」モデル市町村の指定を受けました。

また、この事業のスタートにあたり、健康文化の創造に役立てようと、高知県や南国市などが中心となった実行委員会が主催して、十一月二日に南国市で「健康文化都市国際フォーラム」が開催されました。

フォーラムには、WHOや全米ウエルネス協会、厚生省「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン」モデル都市の指定を受けた市の市長、県下の関係者など約四百人が参加。WHO本部環境保健対策特別本部長と全米ウエルネス協会理事長の特別講演の後、播本知事やWHO西太平洋地域事務局都市衛生問題担当官らが「海外から学ぶ、これからの日本における健康文化都市づくり」と題して対談。大町市長ら「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン」の指定を受けた市の市長による「健康文化のまちづくりを目指す」と題した

健康文化都市国際フォーラム



これを受けて、関係団体や市民の代表による健康文化都市・南国健康ライフプラン策定委員会（鈴江広幸会長、委員二十五人）が発足。南国市の特色を生かした、健康で質の高い生活のためのまちづくりの指針を策定することにな

りました。また、この事業のスタートにあたり、健康文化の創造に役立てようと、高知県や南国市などが中心となった実行委員会が主催して、十一月二日に南国市で「健康文化都市国際フォーラム」が開催されました。

「健康文化」とは、環境整備を過ぎ、生活の質や人間としての豊さを高め、まちづくりにつなげようとするものです。また、日本は世界一の長寿を達成していますが、単に「長生き」というだけでなく、長くなった人生をより充実したものという欲求が高まってきています。これを實現し、私たちの南国市をその特色を生かして自分たちが住みやすいまち、住んでみたいまちにするために、市民一人ひとりの積極的な参加と息の長い取り組みが求められています。

### 平成4年度健康づくり活動状況

	回数	参加者数
講演会	27	1,115
歩こう会	131	1,516
料理教室	92	3,787
健康体操	185	2,038



歩こう会